

平成27年度授業改善推進プラン 《国語》 西東京市立ひばりが丘中学校

●全国学力学習状況調査(中3)

課題の見られた問題の概要	結果
資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く	29.9%
「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する	32.9%
文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く	39.6%

●児童・生徒の学力向上を図るための調査(中2)

課題の見られた問題の概要	結果
聞きとり問題においてスピーチのポイントや特徴を答える問題	42.6%
聞きとり問題において説得力の判定する問題	51.4%
「屋外」を読む問題	59.5%

●調査結果を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
選択式、短答式の問題に対しての正答率は高く、どこに何が書かれているかの見当をつけて文章を読むことはできると分かった。	2、3年生ともに、書く能力に関する問題に課題が見られる。特に3年生では、立場を決めて根拠をもとに「自分の考え」を書くことに課題があり、2年生では、自分の意見を筋道を立てて記述する過程に課題を感じている生徒が多いことが分かった。

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて文章を読むことができる。 ・文章の構成を読みとる力はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書き取りが苦手でありうる覚えの生徒が多い。 ・語彙力の乏しさや作文への意欲、効果的な書き方

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	積極的に発言し問題に取り組むため発表の基礎力がある。しかし、作文で表現すると語彙や表現の仕方の乏しさ、作文への苦手意識が見える。また、漢字への取り組み不足を感じる。	発表では基礎に加え、効果的な提示の仕方や相手に応じたスピーチができる力を身につけられるよう指導する。作文では辞書を活用しながら表現する楽しさを味わわせ、構成の仕組みを学ばせる。漢字については日々練習できる機会を与える。
2年生	言葉をヒントにしながらか解することが苦手な生徒がいる。また、聞きとりテストを行なうと個人差があり、要点をおさえる力が不足している生徒がいる。	語彙力をあげながら、物語文では心情を表す語句に注意して読みとらせ、説明文では文章全体と部分の関係に注目しながら構成を読みとらせる。また聞く力では、論理的な構成に注目させて聞く練習をする。
3年生	立場を決めて、根拠をもとに「自分の考え」を書くということに課題がある。本校では夏休みの課題として意見文を書かせているが、何をどのように書けばよいか迷う生徒が多い。	自分の意見を論理的に伝えるためにはどのように書けばよいかという、文章の型について繰り返し指導する。

●学校全体で取り組む内容

<p>語彙力、作文力の向上のために辞書の活用、構成をふまえた作文指導、説得力のある文章の書き方を指導する。また朝読書を三学年とも始めたので、記録をさせ読書を活用した発表や作品活動を取り入れる。また、それらを活用して発表の機会を設けていく。</p>
